

【参考2】 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に付けた人材が不可欠。

“データサイエンス”力の高い人材育成により、我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速。

【課題】 我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。



【当面の政策】

統計(データ)リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し、推進。

- ① 統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設(平成26年6月1日)
パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト

- ② 「データサイエンス・オンライン講座」の開講(平成27年3月17日)

自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義⇒「MOOC」を活用

・「社会人のためのデータサイエンス入門」(平成27年3月17日開講、平成27年11月17日再開講)

・続編講座(実践編講座)の構築(平成28年春開講予定)



➡ 「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日閣議決定)等に基づき推進